

第5回「原発と人権」全国研究・市民交流集会 IN ふくしま

プレ シンポジウム

～福島原発事故から10年目を迎えて～

核エネルギーと、どう向き合うか

2020年3月28日(土)

14:00～17:00

東洋大学 白山キャンパス

6号館 6101号教室

(東京都文京区白山5丁目28-20)

(会場の詳細は裏面をご参照下さい)

東京電力福島第一原発事故から10年目を迎えようとしています。いまだにふるさとに帰れない避難者は、9～10万人と推定され、様々な困難が新たに発生しています。

しかし、政府は、被害者への補償・賠償を打ち切り、原発の再稼働を強行しています。原発が安全なものではないことが明らかとなり、事故原因すら十分に解明されていないのに……。使用済み核燃料の処理方法すら未だ確立できないでいるのに……。

他方、世界では2017年に核兵器禁止条約が国連総会で採択され、核兵器禁止の動きが大きく前進しています。こうした核兵器禁止の動きは、原発問題とどのような関わりで考えたらよいのでしょうか。そもそも私たち人類は、核をどのように捉えるべきでしょうか。核エネルギーとどのように向かい合えばよいのでしょうか。

こうした根本の問題を、池内了さん(宇宙論・宇宙物理学、科学と社会)、鈴木達治郎さん(原子力政策、科学技術の社会影響評価、核不拡散政策)のお二人に縦横に語っていただき、参加者のみなさんと一緒に考えたいと思います。

ご連絡・お問い合わせ：原発と人権ネットワーク genjinnetwork@gmail.com

● 講演 ●

池内了さん

新潟県の福島原発事故検証の
意義について

● 講演 ●

鈴木達治郎さん

福島事故から10年後の
原子力政策

～教訓は学べているか？～

● パネルディスカッション ●

<パネリスト>

池内了さん

鈴木達治郎さん

寺西俊一さん

<コーディネーター>

磯野弥生さん

各登壇者のプロフィールは、
裏面をご参照ください。

資料代：500円

● 主催 ●

第5回
「原発と人権」
全国研究・市民交流集会
IN ふくしま
実行委員会 準備会

「原発と人権」ネットワーク

<http://genpatsu-jinken.net/>

● 協力 ●

福島原発事故の
被害救済と復興を検証する会

池内 了(いけうち さとる)さん

専門は宇宙論・宇宙物理学、科学と社会。
1944年兵庫県姫路市生まれ。名古屋大学名誉教授・総合研究大学院大学名誉教授。北海道大学、東京大学、大阪大学、名古屋大学、総合研究大学院大学等を歴任。現在は科学・技術と社会の関わりについて教育・評論・執筆・講演活動に従事している。新潟県福島原発事故検証委員会総括委員長。著書に、『科学者と戦争』、『科学者と軍事研究』、『科学・技術と現代社会』、『宇宙開発は平和のために』、『司馬江漢』、『科学者はなぜ軍事研究に手を染めてはならないか』などがある。

寺西 俊一(てらにし しゅんいち)さん

専門は環境経済学・環境政策論。1951年石川県生まれ。一橋大学名誉教授。環境経済・政策学会元会長。現在、日本環境会議理事長。「環境と公害」(岩波書店)編集代表などを務める。

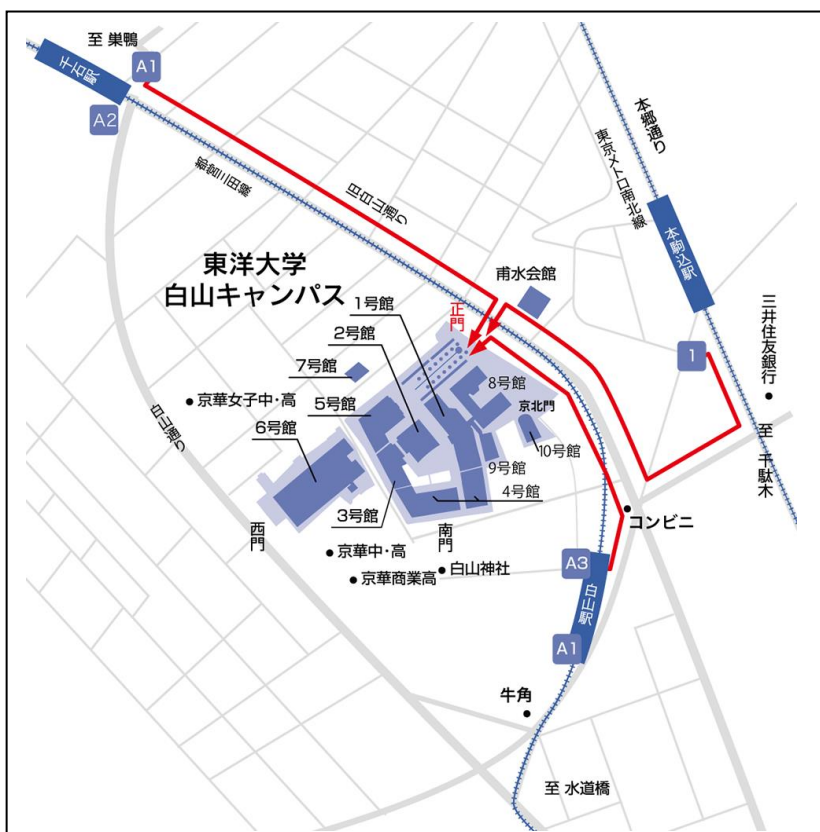
鈴木 達治郎(すずき たつじろう)さん

研究・専門分野は、原子力政策、科学技術の社会影響評価、核不拡散政策など。
1951年大阪府生まれ。1975年、東京大学工学部卒業。1979年、マサチューセッツ工科大(MIT)修士課程修了。工学博士。MIT エネルギー環境政策センターなどを経て、2010～14年に政府原子力委員会委員長代理就任。14年より長崎大学教授、15年より同大学核兵器廃絶研究センター長。19年より同副センター長。編著書に、『核兵器と原発-日本が抱える「核」のジレンマ』、『核の脅威にどう対処すべきか』などがある。

磯野弥生(いその やよい)さん

日本環境会議代表理事・東京経済大学名誉教授。原発事故関係論文:「原発事故被害収束政策と住民の権利」現代法学 32号、「SDGsと日本における参加の課題」環境法研究 9号他。

会場 東洋大学 白山キャンパス6号館(東京都文京区白山5丁目28-20)までのアクセス



- ◆都営地下鉄三田線「白山」駅
A3 出口から「正門・南門」徒歩 5 分
A1 出口から「西門」徒歩 5 分
- ◆東京メトロ南北線「本駒込」駅
1 番出口から「正門・南門」徒歩 5 分
- ◆都営地下鉄三田線「千石」駅
A1 出口から「正門・西門」徒歩 8 分
- ◆東京メトロ千代田線「千駄木」駅
1 番出口から「正門・南門」徒歩 15 分
- ◆JR 山手線「巣鴨」駅
南口から「正門・西門」徒歩 20 分
都営バス 10 分
(「浅草寿町」行「東洋大学前」下車)